

Press Information

±15kV ESD 保護のトランシーバが RS-232 シリアルポートをマルチドロップネットワークに変換

MAX3322E/MAX3323E*は、マルチドロップ RS-232 アプリケーション向けに設計された切替可能な入力インピーダンス付 RS-232 トランシーバです。レシーバ入力インピーダンスは標準 RS-232 の 5k 負荷、又はハイインピーダンス(1M 以上)に設定できます。RS-232 レシーバはいずれの場合もアクティブで負荷のない状態で同時に複数のレシーバを接続することができます。さらに、MAX3322E/MAX3323E は RS-232 入力及び出力に強化静電放電(ESD)保護を備えており、これらの端子は IEC 1000-4-2 エアギャップ放電法を用いて ±15kV、IEC 1000-4-2 接触放電法を用いて ±8kV、及びヒューマンボディモデルを用いて ±15kV の耐圧があります。

2 つの Tx と 2 つの Rx で構成される RS-232 トランシーバ MAX3322E はハードウェアハンドシェイクを必要とするアプリケーションに適しており、MAX3323E はより集積度の高いアプリケーション用に 1 つの Tx と 1 つの Rx を備えています。独自の低ドロップアウトトランスミッタ出力段により、デュアルチャージポンプを介して +3.0V ~ +5.5V の電源電圧に対し RS-232 対応の性能が可能になります。MAX3322E/MAX3323E は 1 μ A のシャットダウンモードを特長としており、このときトランスミッタ及びレシーバ出力はハイインピーダンスです。これらのデバイスは最大 250kbps のデータレートで動作することが保証され、チャージポンプはわずか 4 つの小型 0.1 μ F コンデンサしか必要ありません。

MAX3322E/MAX3323E は工業用拡張温度範囲(-40 ~ +85)での動作が保証されます。MAX3322E は 20 ピン TSSOP、MAX3323E は省スペースの 16 ピン TSSOP 又は 16 ピン DIP パッケージで提供されます。

*開発中 – 入手性についてはお問い合わせください。

